

2013年5月期
決算説明会

(証券コード：7713)

シグマ光機株式会社

2013年7月12日(金)
大手町ファーストスクエアカンファレンス Room D

目次

1. 2013年 5 月期 通期決算概要

経理部副部長

石井 康之

2. 2014年 5 月期 通期見通し

取締役経営企画室長

山口 秀一

3. 2014年 5 月期 成長戦略

代表取締役社長

森 玲二

4. 質疑応答

1 . 2013年5月期 通期決算概要(連結)

低調な国内経済の影響を受け、前年比で減収減益という結果。
研究開発分野の予算執行遅延、産業分野の投資抑制等が大きく影響。

(単位:百万円未満切捨)

	2012/5期		2013/5期				
	通期実績	構成比	業績予想値 1	通期実績	構成比	前年同期比 (増減率)	サマリー
売上高	6,952	100.0 %	6,590	6,191	100.0 %	- 760 (- 10.9 %)	・世界市場の景気低迷により減収 ・大学/官公庁の研究開発分野は予算執行遅延により低調に推移 ・産業分野は国内中心に設備投資や研究開発投資が大幅に抑制傾向
営業利益	428	6.2 %	380	178	2.9 %	- 250 (- 58.4 %)	・減収による売上総利益の減少 ・売上原価は減収に合わせて減少も販促費や試験研究費が前年比で増加
経常利益	563	8.1 %	470	280	4.5 %	- 282 (- 50.2 %)	・減収による営業利益の減少 ・為替変動による大きな影響はなし
当期純利益	273	3.9 %	240	134	2.2 %	- 139 (- 50.8 %)	・所有不動産等の減損損失による減少
1株当り 当期純利益	36円47銭	—	31円86銭	17円87銭	—	—	

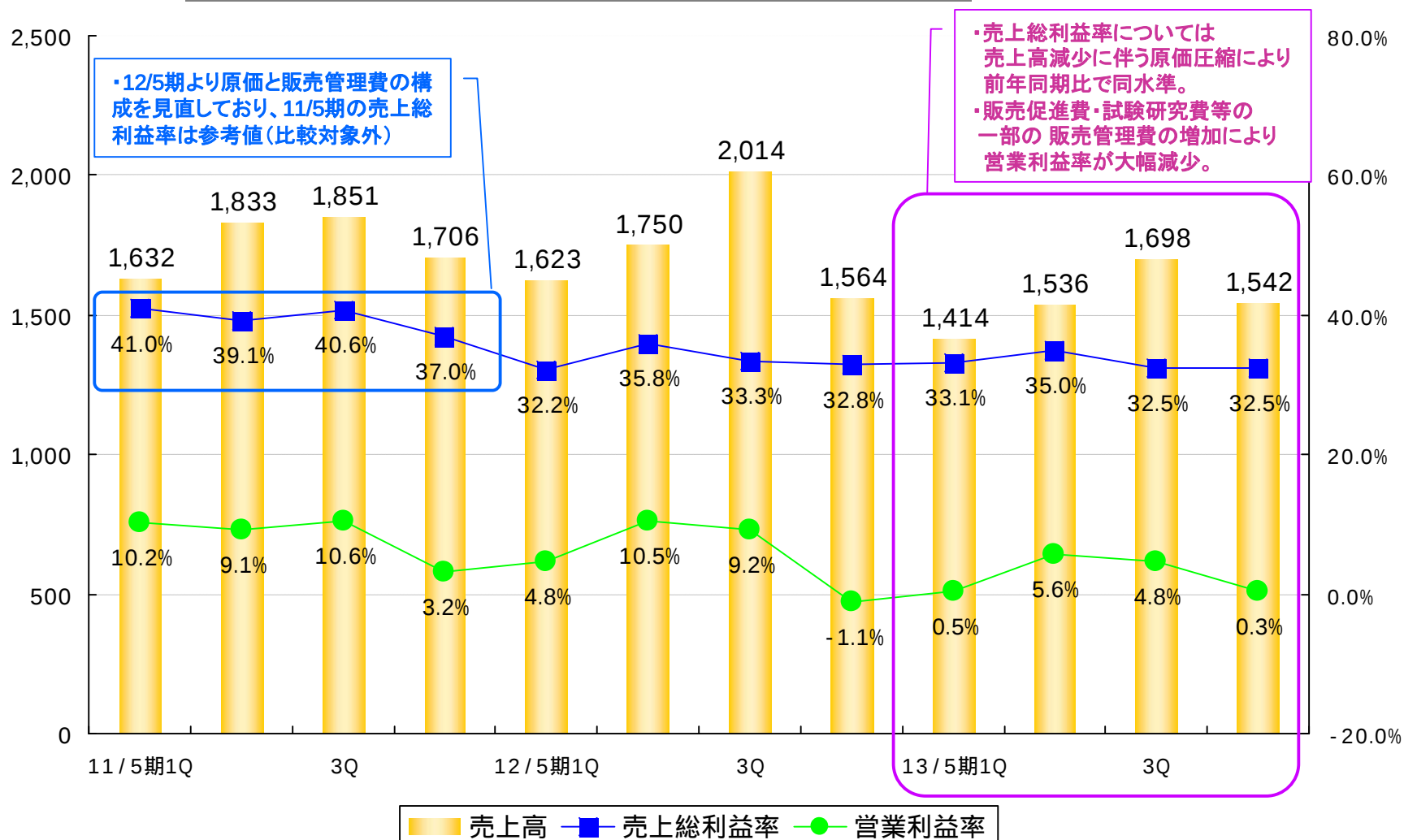
(当期実績は、為替レート(期中平均)として1USドル=83.23円、1人民元=13.25円で計算しております。)

1 : 2012年12月25日発表情報

1 . 四半期売上高・利益率推移（連結）

四半期実績(2011/1Q～2013/4Q)

（単位:百万円未満切捨）



1. セグメント別 売上高・営業利益推移（連結）

売上高

（単位:百万円未満切捨）

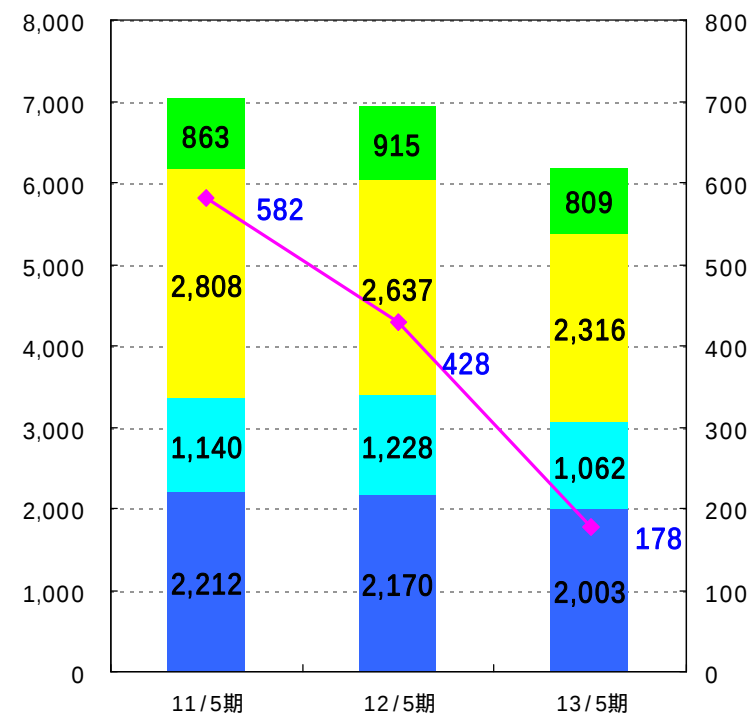
製品区分	11/5期 通期	12/5期 通期	13/5期 通期	構成比率	対前年 増減率
要素部品事業	6,161	6,036	5,382	86.9 %	- 10.8 %
光学基本機器製品	2,212	2,170	2,003	32.4 %	- 7.7 %
自動応用製品	1,140	1,228	1,062	17.2 %	- 13.5 %
光学素子・薄膜製品	2,808	2,637	2,316	37.4 %	- 12.2 %
システム製品事業	863	915	809	13.1 %	- 11.6 %
光学システム製品	863	915	809	13.1 %	- 11.6 %
合 計	7,024	6,952	6,191	100 %	- 10.9 %

（単位:百万円未満切捨）

（単位:百万円未満切捨）

売上高

営業利益



営業損益

（単位:百万円未満切捨）

製品区分	11/5期 通期	12/5期 通期	13/5期 通期	対前年 増減率
要素部品事業	1,241	1,077	832	- 22.7 %
システム製品事業	- 185	- 204	- 217	-
消去	- 473	- 444	- 437	-
合 計	582	428	178	- 58.4 %

1 . 海外販売先別売上高構成比推移（連結）

北米地域では堅調に推移するも、全体では前年同期比で3.3%減少。

北米地域についてはバイオ・メディカル・美容レーザー業界が堅調な動き。
アジア地域は中国・韓国でスマートフォン関連が好調も一部案件が低調。
モバイル端末関連に牽引された一部の半導体業界、FPD業界は堅調。

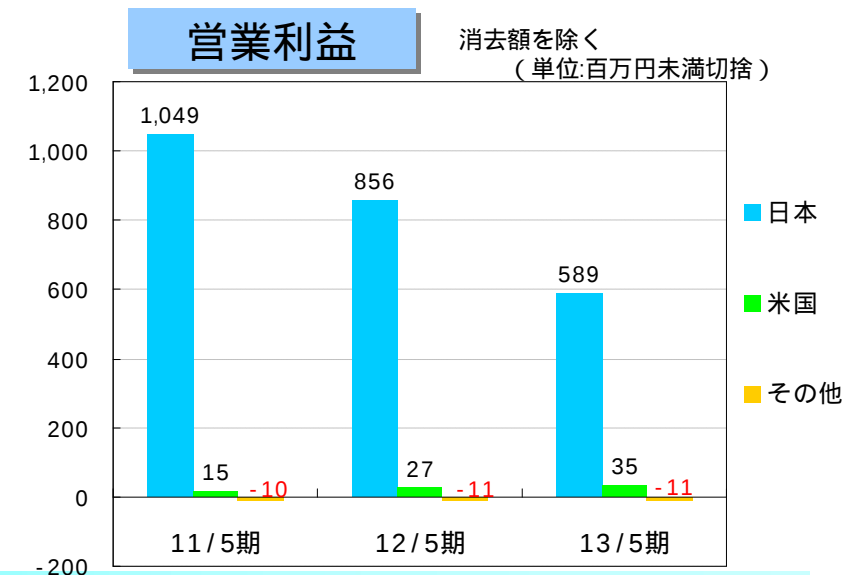
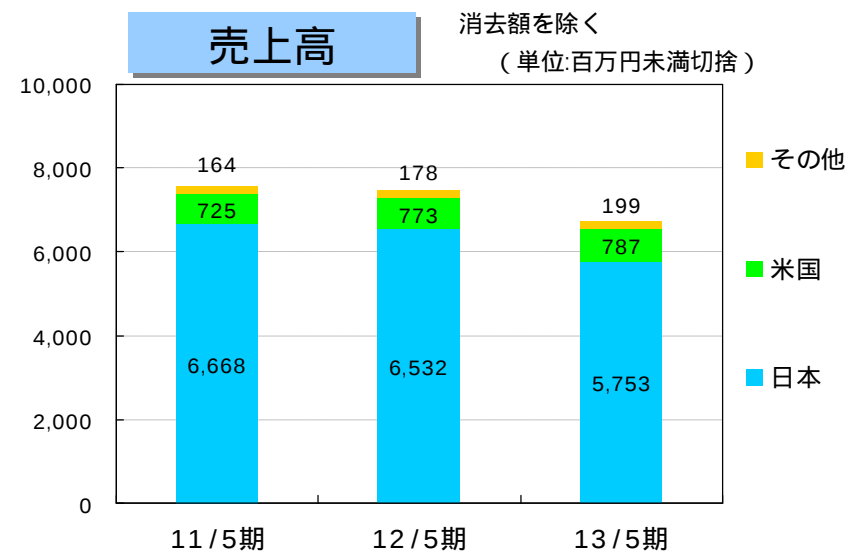
（単位:百万円未満切捨）

	2012/5期 通期	構成比	2013/5期 通期	構成比	対前年 増減率	サマリー
売上高	6,952	100.0%	6,191	100.0%	- 10.9 %	
海外売上高	1,473	21.2 %	1,424	23.0 %	- 3.3 %	・ 前年同期比で3.3%減少
北米	601	8.7 %	610	9.9 %	1.5 %	・ バイオ/メディカル/美容レーザー業界が 堅調に推移
アジア・オセアニア	748	10.8 %	693	11.2 %	- 7.3 %	・ 中国/韓国のスマートフォン関連業界は 好調な展開 ・ 前期まで好調だった通信業界案件が低調
ヨーロッパ	105	1.5 %	99	1.6 %	- 6.0 %	・ 米国子会社OptoSigma経由で展開 ・ ヨーロッパ展開強化のため5月にドイツ 展示会に出展
その他	18	0.2 %	20	0.3 %	10.7 %	

1 . グループ所在地別売上高・営業利益推移（連結）

（単位:百万円未満切捨）

		日本	米国	その他	消去 又は 全社	計
2011/5 通期	売上高	6,668	725	164	- 534	7,024
	営業利益	1,049	15	- 10	- 473	582
2012/5 通期	売上高	6,532	773	178	-532	6,952
	営業利益	856	27	-11	-444	428
2013/5 通期	売上高	5,753	787	199	- 549	6,191
	営業利益	589	35	- 11	- 437	178



1 . 売上原価の状況（連結）

売上高の減少に伴う材料費の減少等で前年同期比で10.5%減少。

売上原価の減少率は売上高の対前年度増減率10.9%とほぼ同水準。

売上総利益率は前年同期並みで推移も金額ベースでは減少。

（単位:百万円未満切捨）

	2012/5期 通期	構成比	2013/5期 通期	構成比	対前年 増減率	サマリー
売上高	6,952	100.0%	6,191	100.0%	- 10.9 %	
材料費等	2,505	36.0 %	2,228	36.0 %	- 11.1 %	・ 売上減少に伴ない材料仕入と 外注加工費が減少
労務費	1,486	21.4 %	1,360	22.0 %	- 8.5 %	・ 生産設備更新による効率向上と 売上減少により残業時間が減少
減価償却費	314	4.5 %	268	4.3 %	- 14.7 %	・ 生産設備の減価償却費が減少
その他	310	4.5 %	273	4.4 %	- 12.1 %	
売上原価	4,617	66.4 %	4,130	66.7 %	- 10.5 %	
売上総利益	2,334	33.6 %	2,060	33.3 %	- 11.7 %	

1 . 販売管理費の状況(連結)

全社的な経費節減対応を推進も、前年同期比で1.2%減少と微減。

人件費は減少も、案件検討依頼や見積り作業費等の販売促進費の増加と新製品開発や生産技術向上のための試験研究費の増加が主要因。

(単位:百万円未満切捨)

	2012/5期 通期	構成比	2013/5期 通期	構成比	対前年 増減率	サマリー
売上高	6,952	100.0 %	6,191	100.0 %	- 10.9 %	
販売促進費	210	3.0 %	245	4.0 %	16.7 %	・ 検討依頼 / 見積り作業費が増加
広告宣伝費	75	1.1 %	57	0.9 %	- 23.7 %	・ カタログ印刷費用の減少
人件費	842	12.1 %	781	12.6 %	- 7.2 %	・ 残業時間の減少
減価償却費	55	0.8 %	55	0.9 %	- 1.2 %	
試験研究費	267	3.9 %	301	4.9 %	12.4 %	・ 新製品開発 / 生産技術開発のため 研究開発投資が増加
その他	453	6.5 %	441	7.1 %	- 2.7 %	・ 支払手数料の削減 ・ 長期前払償却費の増加
販売管理費	1,906	27.4 %	1,882	30.4 %	- 1.2 %	

1 . バランスシート概要(連結)

(単位:百万円未満切捨)

	2011/5期 通期	2012/5期 通期	2013/5期 通期	対前年 増減率	サマリー
現金・預金	2,313	2,471	1,942	- 21.4 %	投資有価証券の購入
受取手形・売掛金	2,057	1,874	1,813	- 3.3 %	
棚卸資産	1,716	1,819	1,820	0.1 %	
その他流動資産	367	448	493	10.0 %	有価証券の増加、未収還付税金
有形・無形固定資産	3,501	3,311	3,418	3.2 %	設備増強、基幹業務システム構築
投資等	3,129	3,065	3,385	10.4 %	投資有価証券の増加
資産合計	13,086	12,991	12,873	- 0.9 %	
支払手形・買掛金	918	801	649	- 19.0 %	
短期借入金	136	129	185	43.4 %	長期借入の1年内返済予定額が増加
その他流動負債	613	506	389	- 23.1 %	法人税支払により未払額が減少
長期借入金	81	119	93	- 21.8 %	
その他固定負債	603	598	646	8.0 %	
純資産合計	10,733	10,837	10,910	0.7 %	配当金支払、為替換算調整
負債・純資産合計	13,086	12,991	12,873	- 0.9 %	

1 . キャッシュフロー概要(連結)

(単位:百万円未満切捨)

	2011/5期 通期	2012/5期 通期	2013/5期 通期	サマリー
営業活動	546	682	376	・ 売上債権の減少(回収)及び棚卸資産の減少による現金残高の増加 ・ 法人税等の支払及び仕入債務の減少(支払)による現金残高の減少
投資活動	-364	-250	-730	・ 有形・無形固定資産の取得 ・ 投資有価証券(債券)の取得 ・ 役員の一時的保険金の積立(支払)
フリーキャッシュフロー	181	431	-354	
財務活動	-281	-147	-209	・ 配当金の支払 ・ 前年同期はプラス要因として自己株式処分があるも、当期は特別な要因なし
現金及び 現金同等物の期末残高	1,865	2,155	1,660	

目次

1. 2013年 5 月期 通期決算概要

経理部副部長

石井 康之

2. 2014年 5 月期 通期見通し

取締役経営企画室長

山口 秀一

3. 2014年 5 月期 成長戦略

代表取締役社長

森 昶二

4. 質疑応答

2 . 2014年5月期通期計画（連結）

官公庁・民間での投資意欲の改善と提案強化で増収増益を計画。

大学・官公庁向け研究開発分野の予算増額による売上高増加を見込む。
また、産業分野では、研究開発投資や設備投資の今期中盤以降の投資意欲の改善に伴う需要回復、及び海外市場の展開強化により売上高増加を見込む。

（単位:百万円未満切捨）

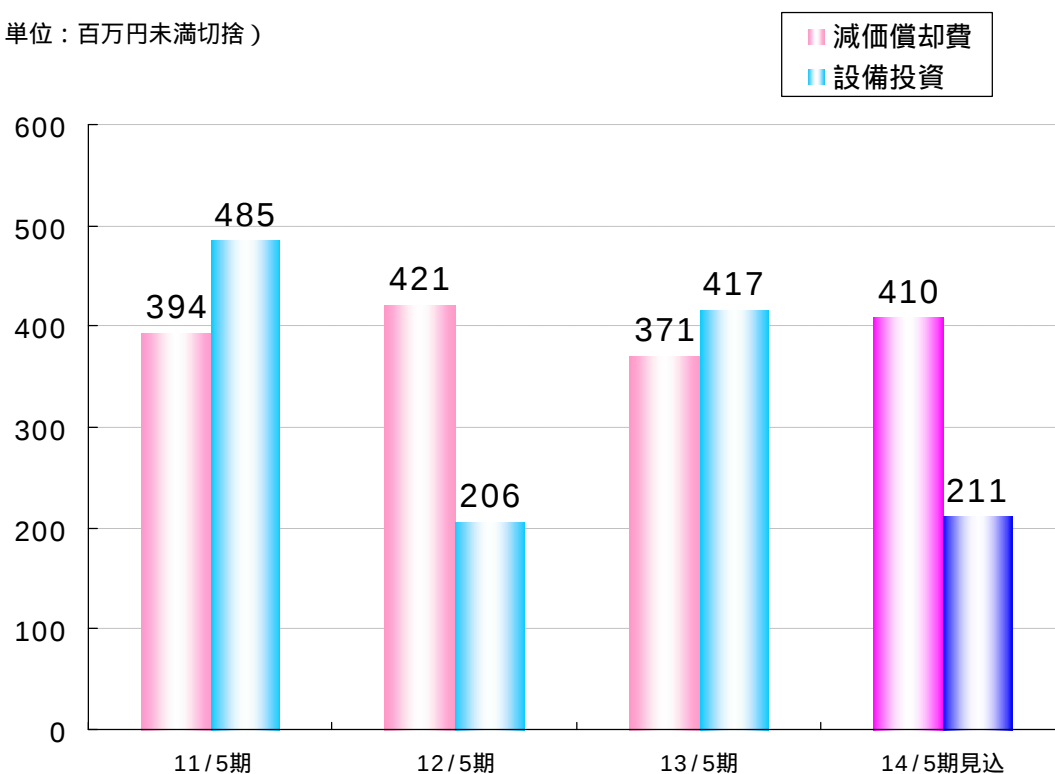
	2013/5期		2014/5期				通期増減（対前期比）	
	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	差異 （金額）	差異 （増減率）
売上高	6,191	100.0 %	3,410	3,720	7,130	100.0 %	938	15.2 %
営業利益	178	2.9 %	160	220	380	5.3 %	201	113.4 %
営業利益率	2.9 %	-	4.7 %	5.9 %	5.3 %	-	-	-
経常利益	280	4.5 %	215	295	510	7.2 %	229	81.8 %
当期純利益	134	2.2 %	120	155	275	3.9 %	140	104.2%
1株当り 当期純利益	17円87銭	-	15円93銭	-	36円51銭	-	-	-

（当期予想は、為替レートとして1USドル=95.00円、1人民元=15.5円を前提としております。）

2 . 設備投資・減価償却費見込み（連結）

設備投資・減価償却費

（単位：百万円未満切捨）



補足説明

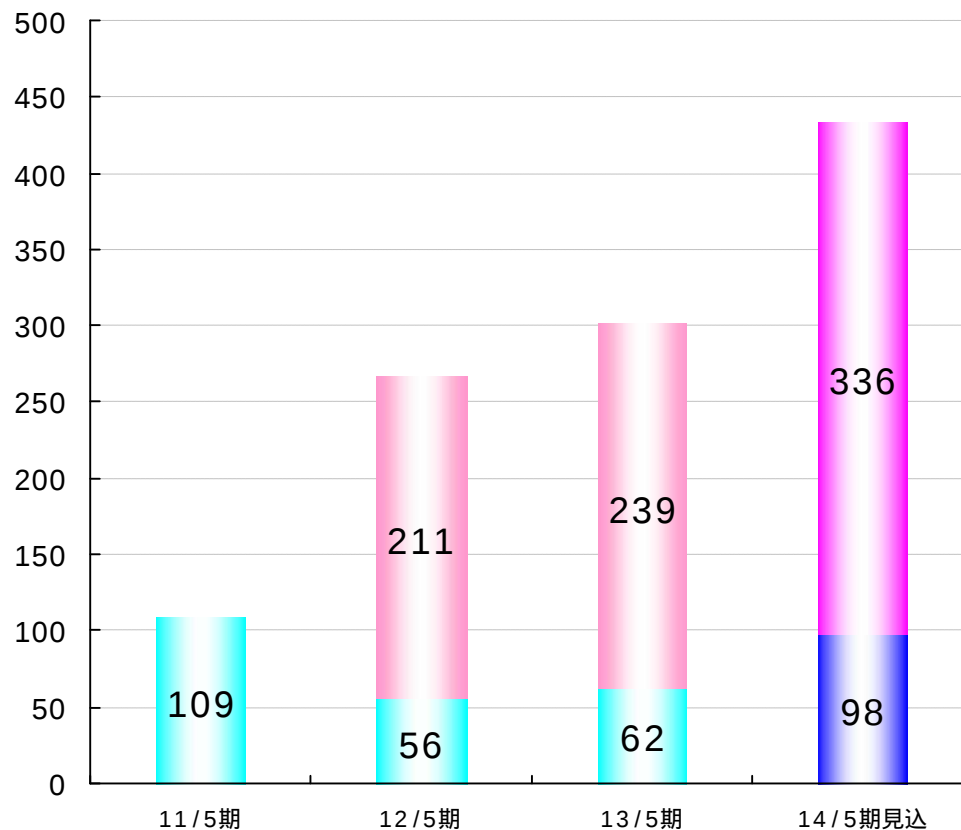
主要設備投資

- 11/5期
 - ・ 光学素子高度化投資 1.0億円
 - ・ オプトシグマ新社屋移転改修工事費 1.9億円
- 12/5期
 - ・ 情報システム投資 0.7億円
 - ・ 拠点建屋改修工事費 0.4億円
 - ・ 光学素子設備増強投資 0.3億円
- 13/5期
 - ・ 情報システム投資 1.2億円
 - ・ 基本機器設備増強投資 1.3億円
 - ・ 光学素子設備増強投資 0.9億円
- 14/5期
 - ・ 真空蒸着装置更新 0.3億円
 - ・ 情報システム投資 0.4億円

2 . 研究開発費見込み（連結）

研究開発費

（単位：百万円未満切捨）



（注）11/5期までの研究開発費には、人件費を含んでおりません。

補足説明

（単位：百万円未満切捨）

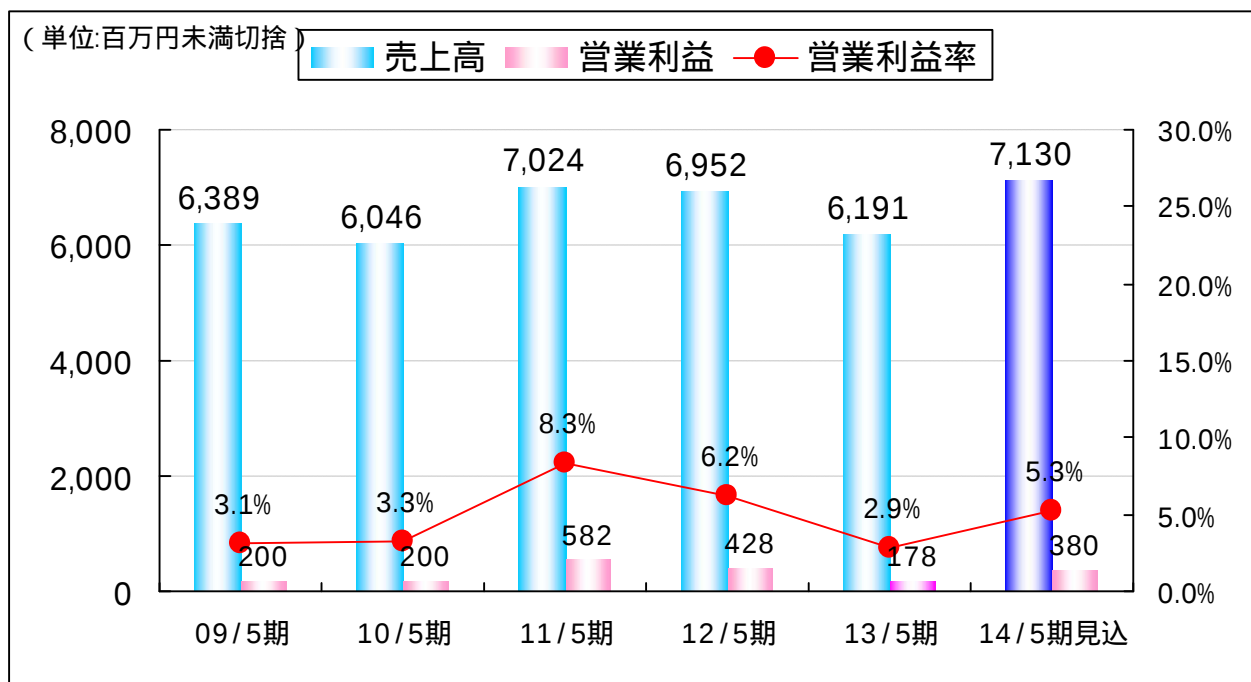
	自社	産学官連携
11/5期	77	32
12/5期	47	9
13/5期	62	-
14/5期見込	93	5

	人件費等	人件費込 売上高比率
12/5期	211	3.9%
13/5期	239	4.9%
14/5期見込	336	6.1%

12/5期より、生産部門の人件費のうち研究開発に充当した費用を研究開発費に付け替えております。

2 . 業績・財務ハイライト

連結業績ハイライト



前期比 増減要因

売上高の増加

- 研究開発分野の予算増加
- 産業案件(OEM等)の獲得

売上原価増加率の抑制

- 材料仕入・外注費の圧縮
- 業務効率化による人件費圧縮

販売管理費増加率の上昇

- 販売促進費の増加
- 広告宣伝費の増加
- 試験研究費の増加
- 1人当り人件費の増加

* 強固な財務体質を堅持(連結) リーマンショック後との比較

自己資本比率	09/5期: 86.1%	→	13/5期: 84.5%
利益剰余金	09/5期: 5,427百万円	→	13/5期: 5,412百万円
純有利子負債	09/5期: ▲1,092百万円	→	13/5期: ▲1,664百万円

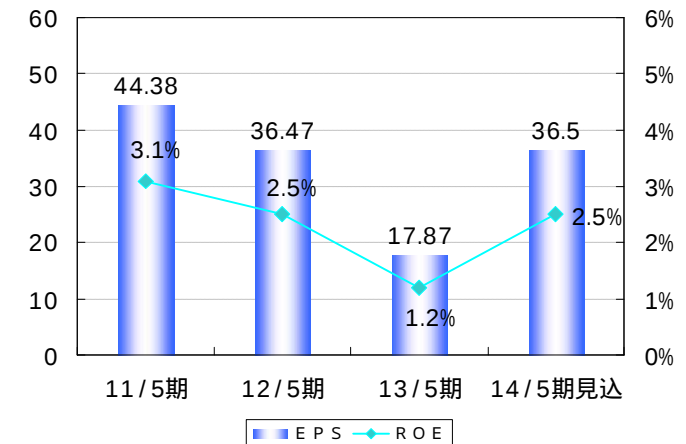
2. 収益性分析の概要

連結EPS・ROE

	2011/5期 通期	2012/5期 通期	2013/5期 通期	2014/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	330	273	134	275
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	44.38	36.47	17.87	36.50
自己資本 当期純利益率（％）(ROE)	3.1	2.5	1.2	2.5()

2013年5月期の自己資本額を元に試算しております。

（単位：円）

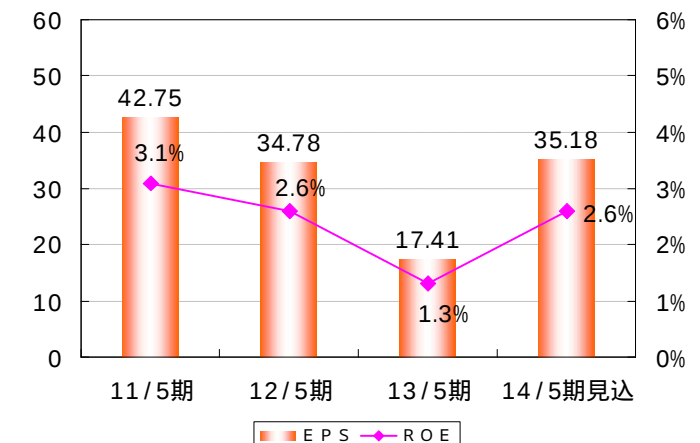


単体EPS・ROE

	2011/5期 通期	2012/5期 通期	2013/5期 通期	2014/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	318	261	131	265
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	42.75	34.78	17.41	35.18
自己資本 当期純利益率（％）(ROE)	3.1	2.6	1.3	2.6()

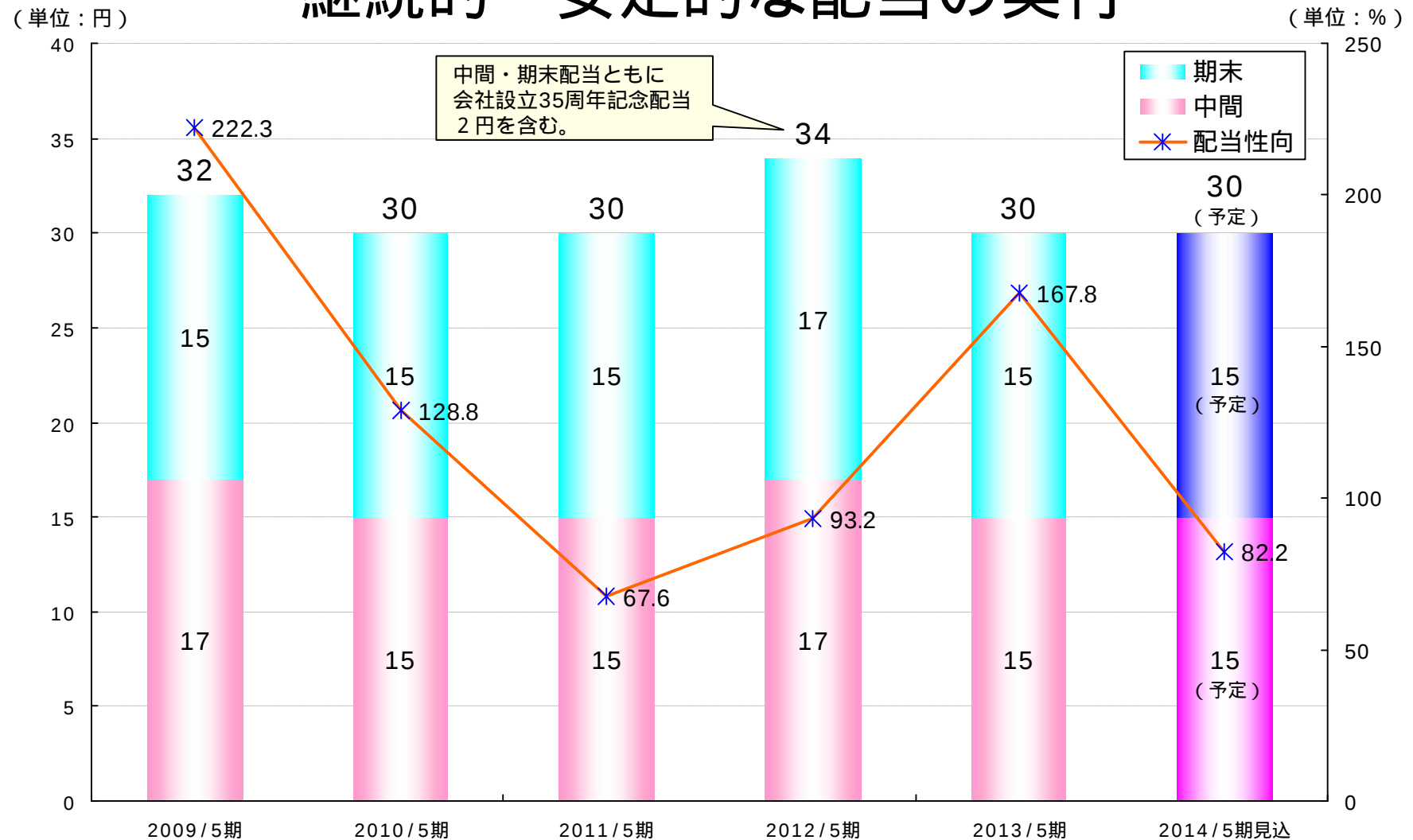
2013年5月期の自己資本額を元に試算しております。

（単位：円）



2．配当金推移

継続的・安定的な配当の実行



目次

1. 2013年 5 月期 通期決算概要

経理部副部長

石井 康之

2. 2014年 5 月期 通期見通し

取締役経営企画室長

山口 秀一

3. 2014年 5 月期 成長戦略

代表取締役社長

森 昶二

4. 質疑応答

3 . 成長戦略

1) 企業コンセプト

2) 成長戦略 3 大キーワード

3) 事業別戦略と課題



九州営業所



大阪支店



東京本社



オプトシグマ



上海シグマ光機



技術センター



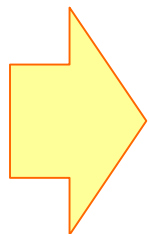
能登工場



本社・工場

3.(1) 企業コンセプト

『 シグマ光機は
光ソリューション・カンパニー
を目指す 』



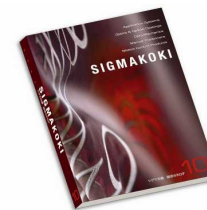
『 問題解決の提案 』 と 『 製品の提供 』

ブランド・ステートメント(グループの事業姿勢)

Light Solutions for Life®

【3大キーワード】

カタログ



レンズユニット



光ソリューション



カタログ

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ・ 基幹ビジネスモデル
（事業形態） | カタログ通販
競争激甚 |
| ・ グローバル展開
（全球展開） | 世界3極営業体制
EU拠点新設 |
| ・ グローバルカタログ
（全球型録） | 日、英、中語
準備中 |

3. (2) 成長戦略 -

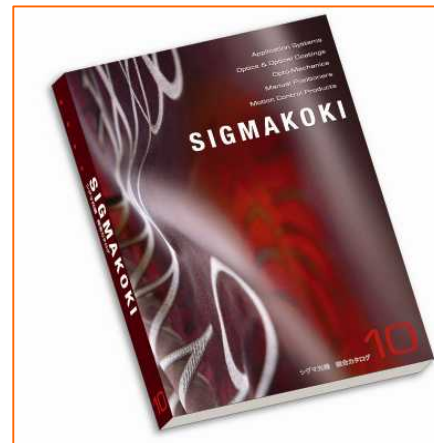
光学素子・薄膜製品



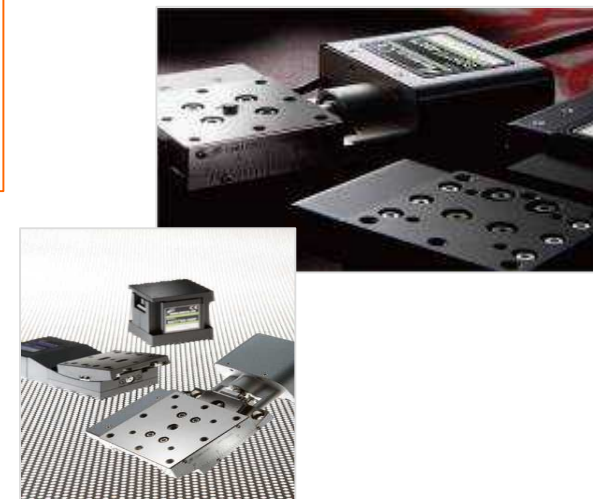
ME オプティクス



光学基本機器製品



自動応用製品



世界 3 極営業体制へ



- ・ アジア シグマ光機
 - ・ 北米 ・ 南米 オプトシグマ
 - ・ E U オプトシグマ
 - ヨーロッパ
- (Coming Soon !)

オプトシグマ ヨーロッパ (O S E)

- ・ 設立 2014年 4月
- ・ 本店 フランス / パリ郊外
- ・ 資本金 50万ユーロ / 100%子会社
- ・ 市場 仏、独、英 / R & D、産業用



< Photonics展 - 2013 / 5 ドイツ・ミュンヘン >



世界3大マーケット(米国・アジア・EU)での ブランド認知度向上とグローバルビジネス強化

Photonics West
2013

アメリカ・サンフランシスコ
(2013年2月5日～7日)



LASER World of
PHOTONICS China 2013

中国・上海
(2013年3月19日～21日)



LASER World of PHOTONICS
2013

ドイツ・ミュンヘン
(2013年5月13日～16日)



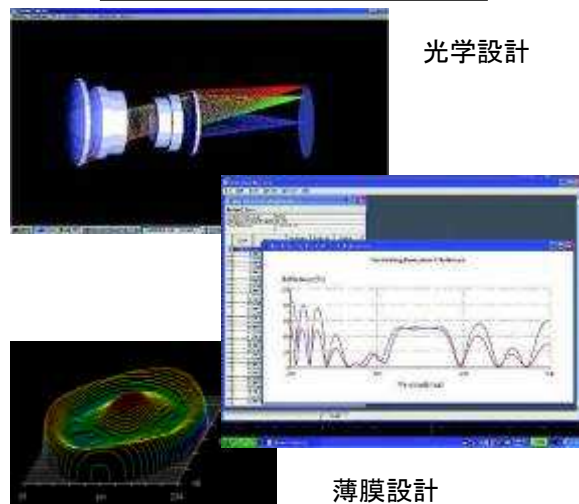
レンズユニット

- ・ 光学技術の優位性
- ・ レーザ分野に特化
- ・ 高付加価値
- ・ 手ばなれの良さ
- ・ 光学システムの中核製品



光学技術の優位性 = 中核技術のさらなる向上

光学設計技術



研磨・成膜技術



評価・測定技術



東京本社



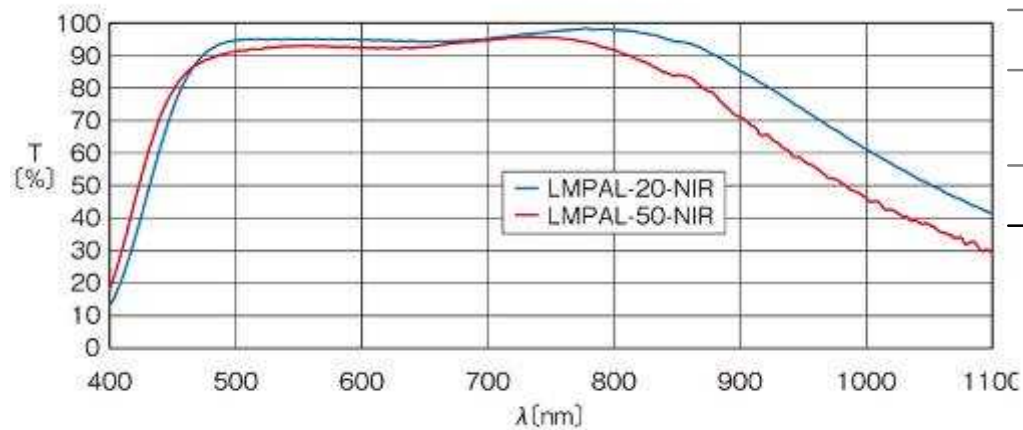
本社・工場



能登工場



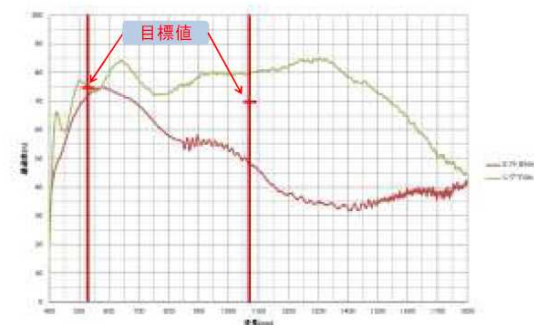
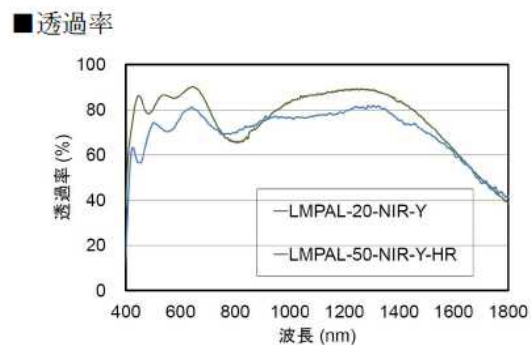
フェムト秒レーザ (770 ~ 790nm) 加工用 高NA無限遠補正対物レンズ — 規格品



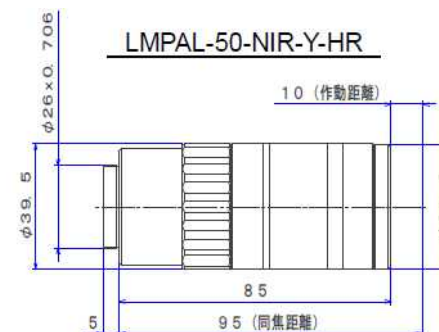
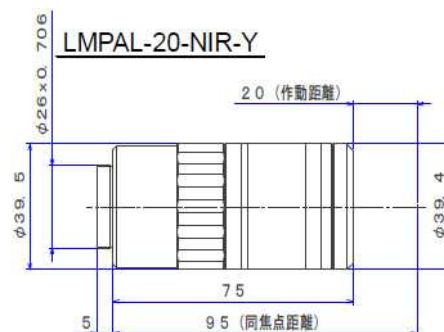
透過率波長特性参考データ

倍率	20倍	50倍
NA	0.45	0.8
作動距離 WD	空気換算17.2mm	空気換算3.8mm
焦点距離 f	10mm	4mm
分解能	0.6 μm	0.3 μm
焦点深度	± 1.4 μm	± 0.4 μm
瞳径	9mm	6.4mm
カメラ視野 (1/2 型)	0.24 × 0.32mm	0.10 × 0.13mm
質量	0.34kg	0.44kg

近赤外対物レンズ - 規格品



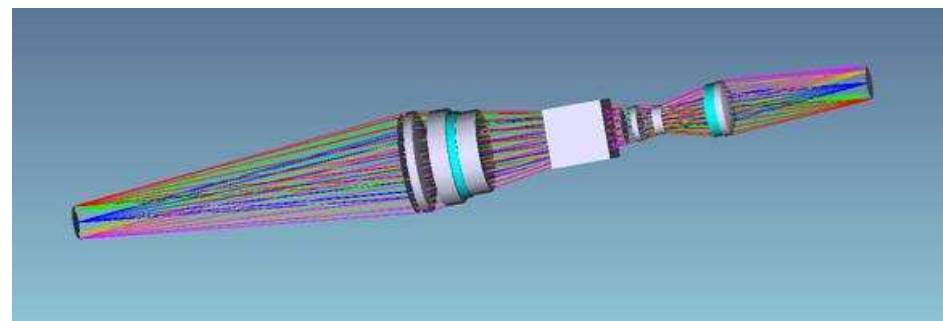
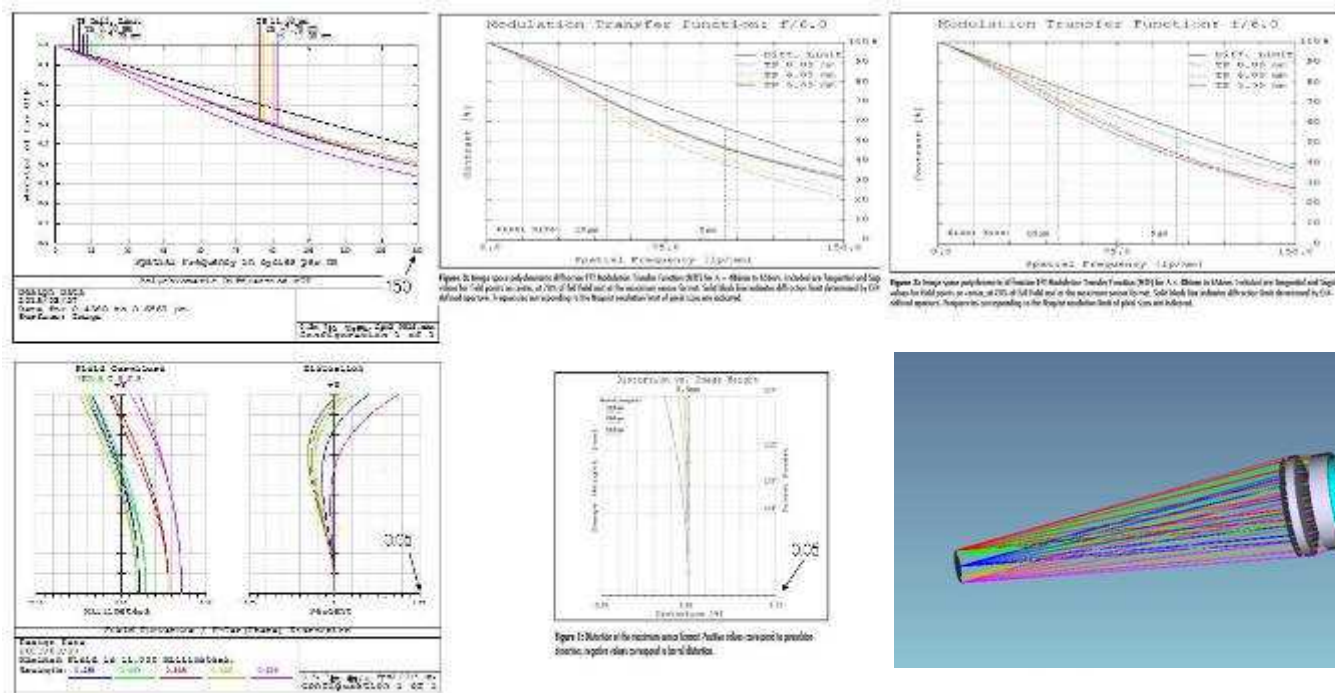
	N.A.比較	
	SK製	M社製
20倍	0.45	0.4
50倍	0.67	0.65



品番	倍率	焦点距離 [mm]	N.A.	W.D. [mm]	分解能 [μm]	焦点深度 ±D.F. [μm]	実視野		質量 [kg]
							(φ 24 接眼) [mm]	(1/2" CCD) [mm]	
LMPAL-20-NIR-Y	20×	10	0.45	20.0	0.6	1.4	φ 1.2	0.24×0.32	0.48
LMPAL-50-NIR-Y-HR	50×	4	0.67	10.0	0.4	0.6	φ 0.48	0.10×0.13	0.48

高解像度テレセントリックレンズ - 規格品

- ・HRテレセントリックレンズ0.5倍・1倍
- ・WD:110mm、適応波長:436~656nm
- ・実効:F5、低ディストーション(0.1%以下)対応
- ・同軸照明有り、無し対応



光ソリューション

- ・ 問題解決提案で丸ごと受注
ワンストップ・サービス
- ・ 産業用 O E M 製品
大マーケット、リピート
- ・ 中核技術は
光学（設計、製造、評価） と
位置決め制御（モーション コントロール）



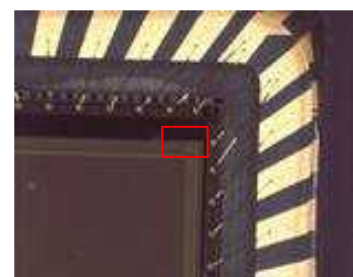
ズームマイクロ스코ープ - 規格品

- ・最大**500mm**の超長作動距離
- ・真空チャンバー内、高温電気炉、発熱箇所の観察に最適
- ・ズーム比**12倍**(0.23~2.74倍、1.25~15倍、4.16~50倍)



真空チャンバー内の観察

C-MOSセンサー



Zoom
→

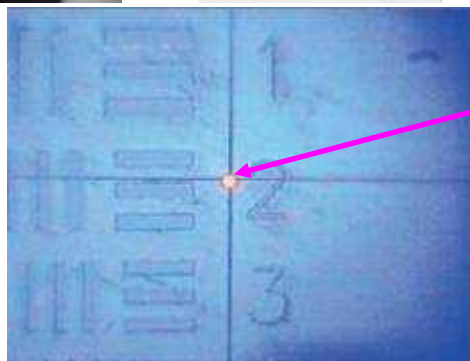
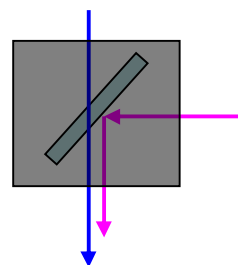


観察ユニット（同軸照明）－ 規格品

- ・オプション充実で拡張(カスタマイズ)可能
- ・レーザ加工ヘッド(UV～NIR対応)
- ・オートフォーカス & リモート制御対応



— 観察照明光
— レーザ光



観察画像

レーザ導入イメージ

Cマウントアダプタ			フォーカスブロック		
 引出調整 CACM-1 ¥10,000	 引出焦点調整 CACM-2 ¥15,000	 焦点調整 CACM-3 ¥12,000	 ボールスタンド PS-S (W)200×(D)300 ¥48,000	 フォーカスユニット PS-L (W)300×(D)400 ¥56,000	 フォーカスユニット ZAS-FAC-PST 前後動と軸スレージ ¥85,000

ファイバー照明装置(光源)			同軸照明付観察ユニット	オートフォーカス
 E024 LED SLA-100 ¥75,000	 E025 HODゲン LS-LHA ¥60,000	 E026 メタルハライド IMH-250 ¥295,000		

レンズポジショナー		アクチュエータ		レーザ導入用ダイクロック
 B021 電動スライダ LACS-2H-A 2穴 ¥246,000	 B021 電動スライダ LACS-4H 4穴 ¥210,000	 I108 対物レンズ用アクチュエータ SFS-OBL-1 ヒエノ ¥360,000	 I108 対物レンズ用アクチュエータ SGSP-OBL-3 コナミネモータ ¥280,000	 レーザ導入用ダイクロック 波長355nm DMC-355R ¥40,000

対物レンズ				
 C158	 C160	 C160	 C161	 C161

マシン ビジョン - 規格品

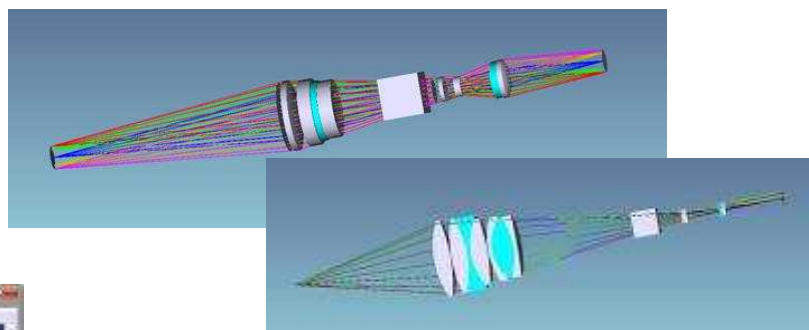
観察ユニット(同軸照明)



★高解像度テレセントリックレンズ

★高倍マシンマイクロレンズ

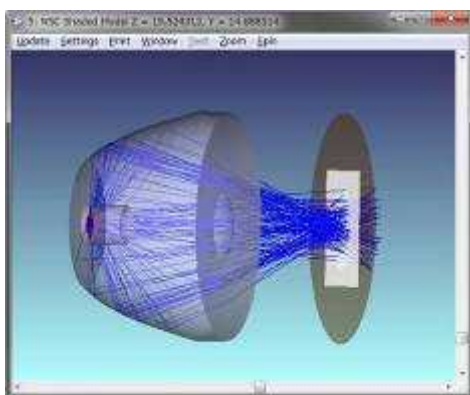
スポット照明・LED電源



光学設計技術



高解像度テレセントリックレンズ



スポット照明レンズ



ズームマイクロスコープ



対物レンズ
UV～NIRラインナップ



LED電源

☆要素部品事業 **激甚のグローバル競争**

- ・既存製品のコストダウン

社内改革とサプライチェーン

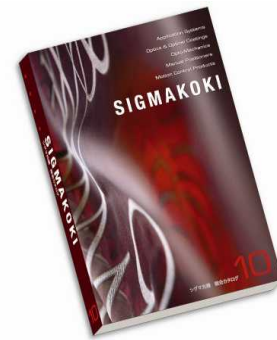
- ・2極化新製品の開発

R&Dプレミアムゾーン

高精度、高価格

産業用ボリュームゾーン

好精度、好価格



☆システム製品事業 **脱 低収益**

- ・ユニットカタログ製品 の充実
- ・大きな産業用市場
- ・高精度レンズユニット ベースの
OEM／リピート受注



東京本社



本社・工場



能登工場



技術センター

【3大キーワード】

カタログ

レンズユニット

光ソリューション

キーワードを満たす

人財、開発、設備投資へ

< 営業 > 日本国内 3 拠点 海外 1 拠点



九州営業所



大阪支店



東京本社



オプトシグマ

< 生産 > 日本国内 3 工場 海外 1 工場



上海シグマ光機



技術センター



能登工場



本社・工場

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証はいたしかねますのでご留意ください。